

目録登録の現状と問題について

- 遡及入力から -

岩手大学附属図書館目録係

田畑 由美子

- 1 . はじめに
- 2 . 本学の現状
 - 1) 計画
 - 2) 方針
 - 3) 経費
 - 4) 方法
 - 5) 教育
- 3 . 問題と対応
 - 1) 検索と登録
 - 2) 同定作業
 - 3) 新規入力
 - 4) 要員
 - 5) 利用について
- 4 . 課題
 - 1) 今後の遡及入力
 - 2) 目録登録
 - 3) 新 CAT 導入後の対応
- 5 . まとめ

1. はじめに

学術情報センターを中心にして全国の大学並びに学術情報研究機関等が所蔵図書及び雑誌の書誌所在情報を蓄積した総合目録データベースが形成され、これにより全国的な共同利用が可能になっている。現在各図書館が取り組んでいる目録データの登録は電子図書館的機能の充実・強化の基礎となるもので、登録されていない資料の遡及入力 of 促進が重要な課題となっている。各機関でそれぞれ遡及入力が進められている状況は種々の調査報告書等で知ることができる。

本学では学術情報センターと接続して、平成元年度から図書資料の書誌所在データをオンライン入力し、データベース構築を実施してきた。平成3年4月からOPAC（オンライン閲覧目録）として検索で利用されている。

日常業務と共に遡及入力業務を行っている中で感じていることを述べてみたい。

2. 本学の現状

平成元年度より入力作業を開始し、新規購入分についてはほとんど入力が行われている。遡及入力についても少々遅れて始めたが、引き続き現在も進行中である。

遡及入力として学術情報センターとの接続前の入力を必要とする資料は約52万冊であった。現在までに約17万冊が入力済みである。約35万冊が未入力であるが現状では年間約2万冊の入力を可能とみており今後17 - 18年かかる見込みである。

1) 計画

第1期	開架書架	最も利用の多い図書館開架図書及び参考図書で貸出返却で移動が多いためカード目録から入力を行った 平成元年度 - 5年度（実施済）
第2期（1）	集密書庫	新制岩手大学発足による中央館（農学部）、2分館（工学部、学芸学部）、1分室（教養部）で管理されていた図書で、カード目録や配架が4とおりにわかれている書庫内資料であり移動が少ないために現物による入力を行っている（注：学芸学部 - 現在の教育学部、教養部 - 現在の人文社会科学部） 平成6年度 - 10年度（現在入力中）
	（2）積層書庫	新嘗中央図書館に統合後書庫に配架されていた図書と研究室から返却された図書 最近利用が多くなっている 平成11年度 - （予定）
第3期（1）	研究室備付	研究室に貸出中の図書で、入力時には一時的な返却を要するもの

- (2) 集密書庫 大学の前身である盛岡高等農林学校，盛岡工業専門学校
岩手師範学校及び岩手女子師範学校の図書
内容的に重要と思われるが年代の古い図書である

遡及入力計画及び現状

(平成10年3月末現在)

計画区分		要入力冊数	入力済冊数	備考
第1期	開架書架 (S46.3-H1.3)	約 87,000	86,059	
第2期 (1)	集密書庫 (S24.5-S46.3)	約 100,000	79,857	
	(2) 積層書庫 (S46.4-H1.3)	約 54,000		
第3期 (1)	研究室備付 (H1.3-以前)	約 230,000		
	(2) 集密書庫 (S24.5以前)	約 50,000		
合計		約 521,000	165,916	入力率31.8%

注：全蔵書における全入力済冊数では 44.3%

- 2) 方針：全蔵書を入力すること
- 3) 経費：学内共通経費により非常勤職員2名雇用
- 4) 方法：学情データとローカルデータを一致させる(ローカルデータで加工しない)
現物によるオンライン入力を行う
非常勤職員が学情にヒットするもののみ学情所蔵登録とローカル書誌所蔵登録を行い，ヒットしないものについては職員が新規入力する
- 5) 教育：端末の操作指導
各種マニュアルの説明
学情データの検索指導

3. 問題と対応

1) 検索と登録

新規購入資料については学情データのヒット率が高くまた参照 MARC も利用できるが，現在遡及入力を進めている資料は大正から昭和40年代の古い年代のものである。人文系・社会科学系の分野はデータが多いが，比較して古い年代の理学・工学系分野のデータは少ないように感じる。理工学系の古い図書は必要ないという意見もきいたことがある。本学の蔵書構成は自然，工学の分野の割合があわせて30%以上占めている。(別表参照) 自館 OPAC として大学内の資料の活用を計るためには全蔵書の入力が望ましいと考えており理工学系のものも多数新規入力している。

今後ドイツ MARC ・中国 MARC が導入されれば検索に大いに利用できると思う。

2) 同定作業

検索している中で同定の判断に迷うものがでてくるが、コーディングマニュアル等を参考に判断し、また修正指針に基づいてレコード調整を行っている。レコード調整は月平均10件程度依頼しているが特に統計等とはっていない。確認依頼内容はいろいろであるが、現在は情報源のコピーを添付したFAXで行っている。

レコード調整の内容については版表示、出版年、頁付、固有の標題の取り方、大きさについての違いなどである。目録担当者の基準に対する判断の違い、許容範囲の違いがあると感じる。

重複書誌を発見した場合は登録の有無に関わらず学情センターへ報告する。

3) 新規入力

書誌検索は非常勤職員と職員とで2度行っているので重複書誌作成は免れていると考える。

学情データや参照MARCを参考にして新規書誌を作成入力している。

作成書誌の校閲リストは出していないので、作成時のデータチェックが必要。

4) 要員

入力要員はデータ入力に関しては未経験であるので、最初の教育として端末の操作指導やマニュアルの説明、学情検索指導が必要である。非常勤職員としての雇用なので期間が限定される。要員が変わる度に教育が必要となる。

実務の中でも疑問があればその都度確認する。

5) 利用について

OPACの整備がすすめば図書館利用者にとってはカード目録との併用検索は必要がなくなり、資料検索が簡単になっている。現在はこのほかにtelnetを使うSOPAC、インターネットで利用できるWebOPACがあり研究室や学外者の利用も多くなっている。

図書館相互協力では目録データの増加により依頼・受付件数ともに増加している状況である。

4. 課題

1) 今後の遡及入力方法

現在の方法で要員・端末を増やす

予算の確保が重要である（各々の大学等によって学内共通経費や科学研究費をあてたりと事情は異なる）。

自動登録システムの利用

新 CAT に対応したシステム（国立大学図書館協議会 - CATP-Auto）がつかわれているが、対象となる図書は年代の古い図書で主な検索キーとなる ISBN 番号がないものも多くあり導入については検討を要する。

外注（委託業務）

経費的に安価で正確な書誌入力成されるのであれば検討する余地がある。ただし、準備段階での図書館職員の負担が大きい。

2) 目録登録

目録担当者ができるだけ同一レベルを保つよう研修や講習会は必要
マニュアルの整備（まちがえやすい事例集など初心者向けのマニュアルなどもあればよい）

漢籍や和装本の専門知識の習得（入力対象にある資料）

次年度予定の組織再編で目録係から図書情報係に変わった後のシステムと目録登録の関係についても考慮しなければならない

3) 新 CAT 導入後の対応

現在業者が対応中

クライアント側でいろいろな対応が考えられる

5. まとめ

中規模大学としての本学における遡及入力の現状と問題について簡単に述べてみた。まだ計画の途中であり結論もだせないが、OPAC データが整備されていけば図書館利用者にとっては大いに有効なものとなる。また相互利用の幅が広がるのではないだろうか。

全国的な共有の総合目録データベースの目的を考えるのであれば、参加している個々の機関においても目録データの整備に協力していかなければならない。品質管理を意識し正確な書誌を作成すると共に信頼性を維持していくことが目録登録業務に携わるものの義務であろうと考える。

参考資料

目録情報の基準 第3版
 コーディングマニュアル
 目録情報に関する質問書/回答書データベース
 岩手大学附属図書館「図書館時報」Vol.31 No.1
 // 概要
 // 諸統計報告 (平成10年6月)

別表 蔵書構成 (平成10年3月末現在)

分類	和書	洋書	計	構成比率
0 哲学	34,563	6,575	41,138	5.8%
1 総記	32,527	10,261	42,788	6.0%
2 歴史	36,798	3,568	40,366	5.7%
3 社会科学	130,923	21,618	152,541	21.6%
4 自然科学	91,515	38,748	130,263	18.4%
5 工学	78,648	26,339	104,987	14.8%
6 産業	48,158	11,079	59,237	8.4%
7 芸術	28,033	1,919	29,952	4.2%
8 語学	23,964	13,195	37,159	5.3%
9 文学	48,626	20,531	69,157	9.8%
計	553,755	153,833	707,588	100%
構成比率	78.30%	21.70%	100%	

(単位 冊)